

報第 1 号 会員の現状について

正会員 33 名（うち新会員 2 名 須藤文護・横山利夫）

2024 年会費納入済み 28 名

賛助会員 会員最終番号 313 名（うち新会員 41 名）

2024 年会費納入済み 230 名

報第 2 号

2024 年事業報告

2024 年は新しい賛助会員が 40 名増えました。サンプルの T シャツに惹かれた御西小屋の宿泊者が、その時々管理人から賛助会費が登山道保全などに使われていることの説明を受け入会に至ったケースが多く、それぞれの管理人のモチベーションとなりました。

小国山岳会員となり正会員になった 2 名を含め、愛する会は正会員が 31 名、新しい賛助会員の会員 No. は 313 になりました。

石転ビ沢を正面に眺める私有小屋「梅花皮ヒュッテ」を譲り受けるにあたり、前所有者である「梅花皮クラブ」から 300 千円の寄付を頂きました。これを基にして「ヒュッテ解体費用積立金」を設けました。

長年「飯豊連峰保全連絡会」で実施してきた合同保全事業が実施されなくなったことから、前年に台風の影響で中止になった梶川尾根上部の登山道保全作業を、多くの賛助会員の参加をいただき「愛する会の独自事業」として実施することができました。

また「飯豊連峰の登山道保全マニュアル」を荘内銀行の助成を受けて刊行することができました。

それを携えて、山形県を始めとする各機関や団体との連携により、那須平成の森、月山、守門大岳、三ッ石山などにお呼び頂き、登山道保全技術の普及活動を行うことができました。

登山道の維持管理事業については、受託している丸森尾根、梶川尾根、梅花皮沢（石転ビ沢）、ダイグラ尾根下部を実施しました。

また新たに朝日地区の祝瓶山と徳綱山を加え、自主事業として大日岳～御西小屋～北股岳（ギルダ原）間の主稜線、ダイグラ尾根の千本峰～飯豊山、倉手山、大境山、の刈り払いを行いました。

遭難救助活動の分野では、御西小屋～梅花皮小屋間の稜線で 2 件の事案が発生し、小屋番や登山道刈り払い作業をしていたメンバーなどが、救助本部と連絡をとりながら現場にかけつけ対応にあたりました。

うち 7 月 12 日に亮平の池で発生した事案は、登山道に残る僅かな雪を避けて谷側

の表土を歩いた際に前年の枯草で滑ったものと推測され、ヘリでピックアップされましたが痛ましい結果となりました。

各山小屋の運営に関しては、御西小屋で先行していたセルフ販売を梅花皮小屋でも開始しました。残雪を得ることができなくなってからも、小屋からほど近い治二清水の水槽に浮かぶ冷たい飲料が好評で、物品販売額は御西小屋を3割ほど上回りました。

梅花皮小屋は83日間の常駐管理を行い、327人（うち幕営53人）の利用がありました。御西小屋は75日間の常駐管理を行い、405人（うち幕営147人）の利用がありました。この他、常駐管理時以外にも多くの利用者から協力金箱に投函を頂きました。

避難小屋は予約制でないため天気予報次第で宿泊者数が極端に変化します。2024年は週末や連休に荒天になるケースが多く、宿泊者が減少しました。その結果、協力金のみで運営している御西小屋では、3年ぶりに赤字決算となりました。

また他の避難小屋においては、少ない好天予報に登山者が押し寄せるオーバーツーリズム現象が発生したものの、混雑状況カレンダーが功を奏し、梅花皮小屋・御西小屋は快適な宿泊環境を提供することができました。

2023年に改修工事がなされた梅花皮小屋ですが、大雨を契機に1階の北股岳側の床に雨水が染み出すようになりました。これについては2025年に業者によるコーキングなどの補修工事が予定されています。

立地的に飯豊連峰主稜線における登山道保全の基地となる御西小屋脇に、新潟県等の協力を得て「避難小屋維持管理資材庫」の仮設を行うことができました。外部トイレし尿搬出用具や登山道保全資材の一時収納が可能となり、小屋管理の傍ら玄山道分岐や御西小屋周辺の登山道保全作業を実施しました。

登山口にある天狗平ロッジは7月13日から8月31日まで管理人が常駐し、この間は突然の宿泊客にも対応できる体制とし、その他の時期は予約があった時に管理人が入りました。

しかし7月の常駐19日間における宿泊者は僅か2人に留まり、管理体制に課題を残しました。

環境省主催の上質なツアー受講を踏まえ、寒冷地形の第一人者である明星大学の長谷川裕彦博士を招いて「石転び沢氷河地形観察ツアー」を開催しました。

天狗平ロッジに宿泊して梅花皮沢梶川出合に残ったモレーンの露頭を観察し、ここまで伸びていた6万年前の氷河に参加者は想いを馳せました。

小国町観光協会との共催でしたが愛する会として企画した初めてのツアーであり、今後の活動の貴重な布石となりました。

東北地方環境事務所からの受託事業として、久保田賢次氏、大土洋史氏、勝俣隆氏による特別講演会を開催し、登山道など登山施設の持続的な維持管理について手法を学ぶと共に、当会の存在意義に対する決意を新たにしました。

【実施した各事業】

- 1 登山情報の提供
 - 1) ホームページ「飯豊朝日連峰の登山者情報」の更新
 - ・登山者情報第 2,347 号～第 2,402 号
 - ・オリジナル T シャツで山を歩こう
 - 2) ヤマケイオンライン「飯豊山」への情報提供
- 2 安全登山の推進事業（登山道維持管理事業）
 - 1) 登山道刈り払い補修整備事業（小国町より受託）
 - ・丸森尾根ルート（天狗平～地神北峰）
 - ・梶川尾根ルート（天狗平～扇ノ地紙）
 - ・石転ビ沢ルート（温身平～石転ビノ出合）
 - ・大嵩尾根ルート（温身平～千本峰）
 - 2) 登山道刈り払い補修整備事業（自主事業）
 - ・石転ビ沢ルート（石転ビノ出合～梅花皮小屋）
 - ・大嵩尾根ルート（千本峰～飯豊山）
 - ・主稜線ルート（門内小屋～御西小屋）
 - ・御幣松尾根ルート（御西小屋～大日岳）
 - ・大境山ルート
 - ・倉手山ルート
 - ・徳網山ルート・・・新規事業
 - ・祝瓶山鈴振り尾根ルート・・・新規事業
 - ・梅花皮ヒュッテ～パノラマコース 920m 峰・・・復元作業
 - 3) 登山道看板設置撤去事業（新発田市より受託）
 - ・北股岳山頂（おういんの尾根の通行禁止看板）
- 3 安全登山の推進事業（山小屋維持管理事業）
 - 1) 避難小屋維持管理業務（小国町より受託）
 - ・北股岳避難小屋（梅花皮小屋）
 - 2) 避難小屋維持管理業務（阿賀町より受託：維持管理費の支給なし）
 - ・御西岳避難小屋（御西小屋）
 - ・御西小屋維持管理資材庫の仮設（登山道保全資材等の保管）
 - ・御西小屋外部トイレのし尿処理（空輸）
 - 3) 登山施設維持管理業務（小国町より指定管理者としての経費支給）
 - ・天狗平ロッジ
 - 4) 登山施設維持管理業務（自主的な事業）
 - ・角檜小屋
 - 5) 山小屋維持管理活用事業（私有小屋）

- ・梅花皮ヒュッテ
- 6) 混雑状況カレンダーアプリの運用と管理
 - ・天狗平ロッジ、梅花皮小屋、御西小屋
- 7) 自然資源を活用した上質なツーリズムの実現に向けた人材育成事業
 - ・町内調査および講演会の開催・・・2月27日～29日
- 8) 特別講演会の開催（東北地方環境事務所より受託）
 - ・持続的な登山環境のために・・・3月7日飯豊町アース
- 4 植生の復元事業
 - 1) 飯豊地域植生復元モニタリング調査（東北地方環境事務所より受託）
 - ・梶川尾根、天狗ノ庭、御西小屋付近、玄山道分岐
 - 2) 飯豊連峰保全作業（一般公募）
 - ・梶川尾根上部（ケルン下部）
 - 3) 域外における登山道保全技術の普及事業
 - ・官民連携型登山道保全整備事業（山形県みどり自然課より受託）
 - ・・・10月1日、月山
 - ・自然保護研修会（新潟県山岳協会）
 - ・・・10月20日～21日、新潟県守門大岳
 - ・登山道整備講習会（那須高原ビジターセンター）
 - ・・・7月5日～6日、栃木県那須平成の森
 - ・登山道整備モニターツアー指導業務（東北地方環境事務所）
 - ・・・10月29日～30日、岩手県三ツ石山
 - 4) 保全テキストの発刊
 - ・飯豊連峰の登山道保全マニュアル
- 5 遭難対策および災害救援事業
 - 1) 飯豊朝日山岳遭難対策業務（飯豊朝日山岳遭難対策委員会より受託）
 - 2) ドローンによる山岳遭難捜索業務（オーセディックジャパン㈱との連携）
 - ・捜索訓練の実施
 - 3) ココヘリレンタル事業
 - ・実績は2件

当会活動の柱である登山施設維持管理活動の持続的な運営のために、経営計画を作成します。

具体的には

- ・現今の物価上昇を考慮し各事業に従事しているメンバーの待遇改善を図り円滑な人員確保に努めます。
- ・登山施設維持管理に必要とされる制度や法的な諸手続きの再点検を行い、関係機関団体の支援や指導を受けながら課題の解決に努めます。
- ・宿泊施設の管理方法について、需要予測に基づいた効率的な人員配置に努めると共に、適正金額の検討、予約制等の模索、幕営形態の検討を行います。

能登半島や山形でも水害にみまわれた 2024 年でしたが、当会の活動を振り返ってみても地球温暖化の影響が出始めているように思われます。

昨年と異なり幸いにも御西小屋の水場は涸れずに済みましたが、石転ビ沢の雪渓は前年に続きすべて溶け、御西小屋～本山間の雪田も越年しませんでした。

現在我が国では「環境省モニタリングサイト 1000」というプロジェクトが進行しており、森林・草原や里地などの環境別に観測が行われています。しかし高山帯では大雪山と日本アルプスの数ヶ所だけで、東北からは選ばれていません。

そのような中、モニ 1000 に準じた科学技術振興機構の山岳生態系監視システムに飯豊山地が候補に挙がっています。

選定されると、最新の気象ステーションにより年間を通した気象データが集積され、センサーカメラによるニホンジカやイノシシなどの野生動物調査、チョウやマルハナバチのルートセンサスなどにより、今後 10 年にわたり飯豊高山帯の自然変化の基礎資料を得ることが可能になるので、ぜひ主体的に関わっていきたいと考えています。

【各事業の計画】

- 1 登山情報の提供
 - 1) ホームページ「飯豊朝日連峰の登山者情報」の更新
 - ・オリジナルTシャツで山を歩こう
 - 2) ヤマケイオンライン「飯豊山」への情報提供
 - 3) 齋藤文庫に関する事業
- 2 安全登山の推進事業（登山道維持管理事業）
 - 1) 登山道刈り払い補修整備事業（小国町より受託）
 - ・丸森尾根ルート（天狗平～地神北峰）
 - ・梶川尾根ルート（天狗平～扇ノ地紙）
 - ・石転ビ沢ルート（温身平～石転ビノ出合）
 - ・大嵩尾根ルート（温身平～千本峰）
 - 2) 登山道刈り払い補修整備事業（自主事業）
 - ・石転ビ沢ルート（石転ビノ出合～梅花皮小屋）
 - ・大嵩尾根ルート（千本峰～飯豊山）
 - ・主稜線ルート（門内小屋～御西小屋）
 - ・御幣松尾根ルート（御西小屋～大日岳）
 - ・大境山ルート
 - ・倉手山ルート
 - ・徳綱山ルート
 - ・祝瓶山鈴振り尾根ルート
 - ・パノラマコース復元作業
 - 3) 登山道看板設置撤去事業（新発田市より受託）
 - ・北股岳山頂（おういんの尾根の通行禁止看板）
- 3 安全登山の推進事業（山小屋維持管理事業）
 - 1) 避難小屋維持管理業務（小国町より受託）
 - ・北股岳避難小屋（梅花皮小屋）
 - 2) 避難小屋維持管理業務（阿賀町より受託：維持管理費の支給なし）
 - ・御西岳避難小屋（御西小屋）
 - ・御西小屋維持管理資材庫の仮設（登山道保全資材等の保管）
 - ・御西小屋外部トイレのし尿処理（空輸）
 - 3) 登山施設維持管理業務（小国町より指定管理者としての経費支給）
 - ・天狗平ロッジ
 - 4) 登山施設維持管理業務（自主的な事業）
 - ・角櫓小屋

- 5) 山小屋維持管理活用事業（私有小屋）
 - ・梅花皮ヒュッテ
- 6) 混雑状況カレンダーアプリの運用と管理
 - ・天狗平ロッジ、梅花皮小屋、御西小屋
- 4 植生の復元事業
 - 1) 飯豊地域植生復元モニタリング調査（東北地方環境事務所より受託）
 - ・梶川尾根、天狗ノ庭、御西小屋付近、玄山道分岐
 - 2) 飯豊連峰保全作業（一般公募）
 - ・丸森尾根上部
 - 3) 域外における登山道保全技術の普及事業
 - ・官民連携型登山道保全整備事業（山形県みどり自然課より受託）
 - 4) 山岳生態系調査事業
 - ・詳細未定
- 5 遭難対策および災害救援事業
 - 1) 飯豊朝日山岳遭難対策業務（飯豊朝日山岳遭難対策委員会より受託）
 - 2) ドローンによる山岳遭難捜索業務（オーセディックジャパン㈱との連携）
 - ・捜索訓練の実施
 - 3) ココヘリレンタル事業
- 6 上質なツアーの試行
 - ・詳細未定
- 7 小国山岳会および他団体との連携事業
 - 1) 愛する会の目的に合致する山形県山岳連盟や他団体との連携および共同事業
 - ・自然保護関連事業
 - ・遭難対策関連事業
 - ・指導標などの設置
 - ・その他

議第2号 2025年予算案

1.非営利事業部門

収入の部	A	B	C		C-A	C-B	
	2024年予算額	2024年決算額	2025年予算額	備考	対予算増減	対決算増減	
入会金	21,000	86,000	21,000		0	△ 65,000	
正会員	1,000	4,000	1,000	1名賛助会員から移行	0	△ 3,000	※01
賛助会員	20,000	82,000	20,000	10名×2,000円	0	△ 62,000	
年会費	304,000	286,000	304,000		0	18,000	
正会員	64,000	56,000	64,000	32名×2,000円	0	8,000	
賛助会員	240,000	230,000	240,000	240名×1,000円	0	10,000	
寄付金	157,200	808,220	1,000		△ 156,200	△ 807,220	※02
計	482,200	1,180,220	326,000		△ 156,200	△ 854,220	

※01-正会員の入会金：賛助会員から移行する場合は（3,000円-2,000円=1,000円）とする。

※02-寄付金：不確定なので最小限の予算額とする。

支出の部

	2024年予算額	2024年決算額	2025年予算額	備考	対予算増減	対決算増減	
旅費	5,000	128	5,000		0	4,872	
賃金	100,000	55,200	60,000		△ 40,000	4,800	※02
福利厚生費	1,000	0	0		△ 1,000	0	
消耗品費	50,000	280,771	100,000		50,000	△ 180,771	※02
会場費	1,000	356	1,000		0	644	
通信運搬費	100,000	142,735	100,000		0	△ 42,735	※02
慶弔費	1,000	0	1,000		0	1,000	
負担金	200	120	1,000		800	880	
手数料	2,000	586	1,000		△ 1,000	414	
光熱水費	2,000	0	1,000		△ 1,000	1,000	
借地料	20,000	0	12,500	梅花皮ヒュッテ地代	△ 7,500	12,500	※01
租税公課	0	0	0		0	0	
計	282,200	479,896	282,500		300	△ 197,396	

※01-借地料：2025年3月分まで梅花皮クラブで納入済み、2025年4月～2030年3月分（2,500円×5年間=12,500円）を納入する。

※02-事務の賃金・消耗品・通信運搬費は決算時に営利部門と案分する。

非営利部門	2024年予算額	2024年決算額	2025年予算額	備考	対予算増減	対決算増減
収入総額	482,200	1,180,220	326,000		△ 156,200	△ 854,220
支出総額	282,200	479,896	282,500		300	△ 197,396
利益	200,000	700,324	43,500		△ 156,500	△ 656,824

2. 営利事業部門

収入

			A	B	C	C-A	C-B
	発注者	事業名	2024年予算	2024年決算	2025年予算	対予算増減	対決算増減
32-受託金			3,100,000	3,276,198	3,050,500	△ 49,500	△ 225,698
02-梅花皮	小国町	梅花皮小屋維持管理		542,000	542,000		0
05-刈払	小国町	登山道維持管理		0	638,500		638,500
05-刈払	新発田市	北股岳看板		20,000	20,000		0
06-遣対	飯豊朝日山岳遭難対策委員会	捜索救助		300,000	300,000		0
07-保全	東北地方環境事務所	特別講演		850,000	0		△ 850,000
07-保全	東北地方環境事務所	植生調査		450,000	450,000		0
07-保全	山形県みどり自然課	保全技術伝達講習		94,198	80,000		△ 14,198
04-ロッジ	小国町	天狗平ロッジ維持管理		1,020,000	1,020,000		0
33-使用料等			2,800,000	2,474,645	3,448,546	648,546	973,901
02-梅花皮	宿泊者	協力金		1,039,310	1,454,774		415,464
03-御西	宿泊者	協力金		1,261,135	1,743,771		482,636
04-ロッジ	宿泊者	宿泊料		174,200	250,000		75,800
35-物販			550,000	994,990	966,360	416,360	△ 28,630
02-梅花皮	購買者	飲食料品の販売		443,700	488,070		44,370
03-御西	購買者	飲食料品の販売		343,900	378,290		34,390
07-冊子	購買者	保全冊子・シャツの販売	0	207,390	100,000		
助成金			300,000	0	0	△ 300,000	0
07-保全	未定			0	0		0
36-雑入			1,000	114,993	20,000	19,000	△ 94,993
01-事務				114,993	20,000		△ 94,993
合計			6,751,000	6,860,826	7,485,406	734,406	624,580

支出

	A	B	C		C-A	C-B
	2024年予算額	2024年決算額	2025年予算額	備考	対予算増減	対決算増減
旅費	150,000	257,990	100,000	研修旅費・派遣旅費を除く	△ 50,000	△ 157,990
賃金	4,000,000	4,606,769	4,400,000	常駐の見直し、単価のup	400,000	△ 206,769
作業福利厚生費	30,000	36,400	35,000	入湯料	5,000	△ 1,400
消耗品費	1,020,000	1,088,678	1,080,000		60,000	△ 8,678
備品費	60,000	100,000	100,000	生態系調査を加える	40,000	0
会場費	10,000	39,020	15,000	講演会を除く	5,000	△ 24,020
通信運搬費	400,000	785,632	700,000	通信網の整備	300,000	△ 85,632
空輸費	300,000	230,190	300,000		0	69,810
修繕料	50,000	59,006	50,000		0	△ 9,006
委託費	140,000	64,240	50,000		△ 90,000	△ 14,240
保険料	120,000	110,500	200,000	施設保険を検討	80,000	89,500
負担金	2,000	2,000	2,000	町観光協会	0	0
手数料	16,000	9,770	10,000	振込手数料他	△ 6,000	230
光熱水費	20,000	100,000	100,000	ロッジ電気料	80,000	0
印刷費	300,000	468,457	0	テキスト本を除く	△ 300,000	△ 468,457
謝礼	1,000	113,898	0	講演会を除く	△ 1,000	△ 113,898
雑費	10,000	720	10,000		0	9,280
租税公課	72,000	72,000	72,000		0	0
計	6,701,000	8,145,270	7,224,000		523,000	△ 921,270

営利部門	2024年予算額	2024年決算額	2025年予算額	備考	対予算増減	対決算増減
収入総額	6,751,000	6,860,826	7,485,406		734,406	624,580
支出総額	6,701,000	8,145,270	7,224,000		523,000	△ 921,270
利益	50,000	△ 1,284,444	261,406		211,406	1,545,850

3.総合

全体会計	2024年予算額	2024年決算額	2025年予算額	備考	対予算増減	対決算増減
非営利部門利益	200,000	700,324	43,500		△ 156,500	△ 656,824
営利部門利益	50,000	△ 1,284,444	261,406		211,406	1,545,850
合計利益	250,000	△ 584,120	304,906		54,906	889,026

令和6年度事業報告書

令和6年1月1日から令和6年12月31日

特定非営利活動法人飯豊朝日を愛する会

1 事業の成果

今年度の本法人の事業は、週末に天候が崩れることが多く宿泊者が減少して厳しい経営を余儀なくされた。前年資材を空輸したものの台風直撃のため実施できなかった高山帯における植生復元の実施を行い、登山道の維持管理においても自主的な路全を加えるなど、登山者の安全・便宜に一定の成果を上げることができた。

2 特定非営利活動に係る事業実施に関する事項

事業名	安全登山の推進事業
事業内容	避難小屋・山小屋・登山屈所・登山道など登山施設の維持管理 登山道の状況など情報提供
実施日時	年間を通じて随時行った
実施場所	飯豊朝日山地
従事者の人数	23名
受益対象者の範囲および人	山岳愛好家を中心とする一般公衆
支出額(円)	7,260,796円
事業名	植生の復元事業
事業内容	登山道の修復など維持管理 裸地化した登山道の被覆
実施日時	年間を通じて随時行った
実施場所	飯豊朝日山地
従事者の人数	4名
受益対象者の範囲および人	山岳愛好家を中心とする一般公衆
支出額(円)	825,091円
事業名	遭難対策および災害救援事業
事業内容	山岳救助隊の装備調達および訓練 安全登山の推進事業指導啓発
実施日時	年間を通じて随時行った
実施場所	飯豊朝日山地
従事者の人数	8名
受益対象者の範囲および人	山岳愛好家を中心とする一般公衆
支出額(円)	165,018円

令和6年度 活動計算書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

特定非営利活動法人飯豊朝日を愛する会

(単位:円)

科 目		金 額	
I	経常収益		
1	受取会費		
	正会員受取会費	60,000	
	賛助会員受取会費	312,000	
	受取会費計		372,000
2	受取寄付金		
	寄付金	808,220	
	受取寄付金計		808,220
3	受取助成金等		
	受取民間助成金	0	
	受取公的助成金	0	
	受取助成金計		0
4	事業収益		
	安全登山の維持事業	5,051,637	
	植生の復元事業	1,394,198	
	遭難対策及び災害救援事業	300,000	
	事業収益計		6,745,835
5	その他収益		
	受取利息	420	
	雑収入	114,573	
	その他収益計		114,993
	経常収益計		8,041,048
II	経常費用		
1	事業費		
1)	人件費		
	給与手当	4,732,248	
	福利厚生費	36,400	
	人件費計		4,768,648
2)	その他経費		
	会議費	39,020	
	旅費交通費	758,365	
	消耗品	307,920	
	備品費	100,000	
	通信運搬費	873,087	
	修繕費	59,006	
	委託金	64,240	
	保険金	110,500	
	負担金	2,000	
	手数料	9,770	
	光熱水費	100,000	
	印刷費	468,457	
	謝礼	120,330	
	慶弔費	0	
	雑費	720	
	その他の経費計		3,013,415
	事業費計		7,782,063
2	管理費		
1)	人件費		
	給与手当	45,336	
	福利厚生費	0	
	人件費計		45,336
2)	その他経費		
	会議費		
	旅費交通費		
	消耗品	280,771	
	通信運搬費	142,735	
	修繕費		
	委託金		
	保険金		
	負担金		
	手数料		
	慶弔費		
	光熱水費		
	雑費		
	租税公課		
	その他の経費計	0	423,506
	管理費計		468,842
	経常費用計		8,250,905
	当期経常増減額		-209,857
III	経常外収益		
1	固定資産売却益	0	
	経常外収益計		0
IV	経常外費用		
1	過年度損益修正損	0	
	経常外費用計		0
	税引前当期正味財産増減額		-209,857
	法人税、住民税及び事業税		72,000
	当期正味財産増減額		-281,857
	前期繰越正味財産額		4,342,585
	次期繰越正味財産額		4,060,728

令和6年度 貸借対照表

令和6年12月31日現在

特定非営利活動法人 飯豊朝日を愛する会

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,060,728		
未収金	0		
流動資産合計		4,060,728	
2 固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,060,728
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,342,585	
当期正味財産増減額		-281,857	
正味財産合計			4,060,728
負債及び正味財産合計			4,060,728